

(令和5年12月13日発表)

静岡市歴史博物館 新館長の就任について

◆アピールポイント	令和5年1月13日にグランドオープンした「静岡市歴史博物館」について、令和6年4月1日から、東京学芸大学の名誉教授大石学氏が新館長に就任します。
◆内容など	<p>●新館長略歴</p> <p>大石 学（おおいし まなぶ）氏 1953年 東京都出身 東京学芸大学卒 近世日本史（江戸時代）専攻</p> <p>元職 東京学芸大学副学長、時代考証学会会長、日本芸術文化振興会監事</p> <p>現職 東京学芸大学名誉教授</p> <p>○論文 日本近世国家における公文書管理－享保の改革を中心に－ 外様大名－柳氏の転封と分知－近世大名化の一側面－ 享保改革の歴史的的位置 他多数</p> <p>○著書 『享保改革の地域政策』『大岡忠相』『江戸の外交戦略』 『家康公伝 現代語訳徳川実記』『首都江戸の誕生』 他多数</p> <p>○時代考証 NHK 大河ドラマ『新選組！』『篤姫』『龍馬伝』『西郷どん』 NHK ドラマ10「大奥」など</p>
◆コメント	○新館長、現館長のコメント、写真は別紙資料をご覧ください。
◆備考	<p>○現館長同様、静岡市歴史博物館の指定管理者である（公財）静岡市文化振興財団が館長職を委嘱します。</p> <p>○中村羊一郎現館長には、退任後も展示内容や研究に関する助言や、各種講演への登壇をしていただく等、今後も引き続き御助力いただく予定です。</p>

別紙資料 有

【問合せ】

○新館長の選定に関すること

歴史文化課（静岡庁舎新館 16階） 担当 前島、森下
 電話 054-221-1569

○新館長の雇用形態に関すること

静岡市歴史博物館（追手町4-16） 担当 堀池、廣田
 電話 054-204-1005

新館長コメント

大石 学（おおいし まなぶ） 氏

今日、日本と世界は、環境・戦争など深刻な問題に直面しています。国内外からの江戸時代への関心の高まりはこうした状況と無縁ではないと思います。

100年以上に及ぶ戦国時代を克服し、250年以上の「平和」の基礎を築いた徳川家康の歴史的意義は、今日決して小さくありません。私は、静岡市歴史博物館の開館準備段階から、中村羊一郎館長をはじめとする静岡市の皆様と家康と戦国時代・江戸時代について話し合いを重ねてきました。

この経験も生かしつつ、当博物館の理念や魅力を、静岡市をはじめ、広く国内外へ発信していきたいと思えます。



現館長コメント

中村 羊一郎（なかむら よういちろう） 氏

静岡市民 20 年来の希望がようやくかなった歴史博物館。

その最初から関わり続け、初代館長として基礎固めをさせていただけたことは光栄の至りです。

開館以来、資料寄贈の申込が相次いでおり、皆様の期待の大きさと静岡の歴史の厚みを感じています。

市民が造る博物館という本館の目標達成に向けて、今後を託すことになる大石氏は静岡にもご縁がある名高い歴史研究者であり、まさに後顧の憂いなし、という心境です。

